

用途

非接触（面会）

業種

医療、福祉

iPresence
Teleportation as a Service

iPresence 合同会社

<https://ipresence.jp/>

TEL : 050-1200-4067

Email : info@ipresence.jp

使用ロボット

メーカー名 :

Xandex Inc.

ロボット名 :

Kubi (クビー)

導入先

場所/施設名 :

非公開

ユーザー名 :

ICU (集中治療室)

ユーザーの声

単なるタブレットだと、見えるように都度スタッフが設置位置を調整する必要があり現場の負担になる。kubi ならば一度設置すればスタッフは手をかけずとも良いため、現場に集中できる。

患者の様子だけでなく、部屋の様子も遠隔から見まわしながら説明できるため、客観的に状況を把握してもらいやすい。

導入の背景

コロナ禍において感染リスクから、家族でも対面しての面会が制限される状況にある。その中で少しでも家族の方を安心してあげたいという緩和ケアチームの要望から、温度感のある遠隔コミュニケーションを実現できるテレプレゼンスロボットを活用することが決定し、導入した。

導入の目的

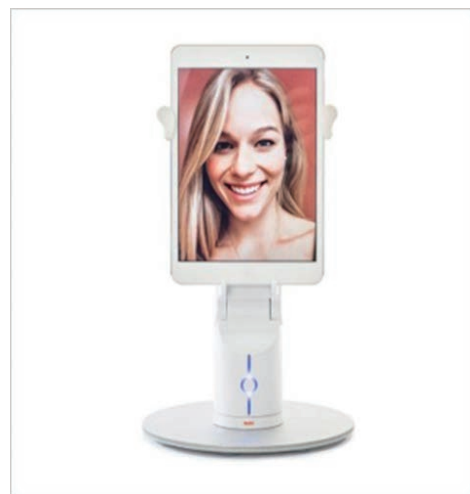
- ・対面できない家族の心理的ケア。
- ・より満足感、安心感のあるオンライン面会の実現。

導入の内容

卓上型テレプレゼンスロボット kubi はビデオチャット機能とロボットコントロールを組み合わせることで、「離れた人がまるでそこにいるかのように感じながら会話することができる」ソリューション。

遠隔操作者は kubi のディスプレイに顔を表示しながら操作画面をタッチするだけで、首から上のように左右を見渡したり頷いたりするボディランゲージができる。

面会に来た家族に病院スタッフが使い方を説明しながら kubi でのオンライン面会を提供している。



導入の特長

非対面・非接触が求められる場面は病院内では多い。今後、面会だけでなく、医師と患者の対面や、離れた病院からの医師の遠隔診療など、対面の安心感を保持したまま医療サービスがオンラインで実現できる可能性がある。

IT 機器が得意でないスタッフも多いため、サポートを迅速にできるように医療ソーシャルワーカーと密に連絡がとれる体制をつくっている。

効果

テレプレゼンスロボットを利用したオンライン面会で家族の満足感も得られた様子。安心できた、様子をみられて納得できた、みられて嬉しかった、他のご家族にもしてあげてほしいなどの声が集まった。病院内での理解も浸透していき、各部署で活用のアイデアが出てきている。